

2016. 3. 1

山口県子ども読書支援センター（山口県立山口図書館）発行

TEL083-924-2111 FAX083-932-2817

<http://library.pref.yamaguchi.lg.jp>

★メールマガジン「本はともだち～山口県子ども読書支援センターニュース」配信中！

メールマガジン「本はともだち」は、新刊紹介や県内の行事など、より充実した内容で配信中です。読者登録の方法は県立図書館のホームページをご覧ください。

【山口県子ども読書支援センター行事】

★幼児のためのおはなし会

○日時：平成28年3月1日（火）11:00～11:20

○会場：山口県立山口図書館

○対象：幼児

【2月のおはなし会で使った本】

『おまめくんばちばち』とよたかずひこ/脚本・絵 童心社 2004

『おにのパンツ』鈴木博子/構成・絵 ひさかたチャイルド 2013

『りくののりものえほん』いしかわこうじ/作・絵 童心社 2012

『ぎゅうって』さいとうしのぶ/作・絵 ひさかたチャイルド 2001

『こわーいはなし』せなえいこ/作・絵 鈴木出版 2007

【新刊紹介】 価格は消費税抜き

<絵本—乳幼児から>

『きをつけて おおかみだ!』セドリック・ラマディエ/ぶん ヴァンサン・ブルジェ/え たにかわしゅんたろう/やく ポプラ社 2016.1 ¥1,200

狼が「ふうーっ」と息を吹くと、木々のはっぱがみんな吹っ飛んだ。続いて太い木の幹も吹っ飛び、小さな家の屋根や扉や窓までが、次々に飛んでいった。最後に何もなくなった家の中に残っていたのは、ケーキを持った3匹の子豚で…?最後のページで、狼がどうして息を吹きかけたのかわかる、昔話「さんびきのこぶた」を下敷きにしたフランスの愉快なしかけ絵本。

<絵本—3, 4歳から>

『ちよんまげとんだ』中尾昌稔/文 広瀬克也/絵 くもん出版 2015.12 ¥1,300

風吹いて、お相撲さんのちよんまげ飛んだ。どこへ飛んだ?大きな石を必死に押すブルドーザーの上に飛んだ。ちよんまげが頭に乗ったら、途端に力が漲って「どすこ〜い!」と石を押し始めたよ。そこにまた風が吹いて…?絶体絶命の状況に追い詰められた動物やものにちよんまげがついて力持ちになって…。ちよんまげの起こす大逆転の連続が痛快なユーモア絵本。

『ホーホーはらへりフクロウさまだ!』ショーン・テイラー/文 ジャン・ジュリアン/絵 木坂涼/訳 BL出版 2016.1 ¥1,600

真っ暗の真夜中に、ヒューと現れ出るのは、誰もが恐れる変身名人、ホーホー腹減りフクロウ様!頭が良くて、変身も超得意。今夜も晩飯を狙い、変身が冴え渡る?兎を見つけ、人参に変身!じっと待つか…。「あ!いつちまった 気にしない!」次だ…!コスチュームを手作りして変身、獲物に近づいては失敗を繰り返す、おとぼけフクロウの愉快なお話。

<絵本—5, 6歳から>

『おおきなでんしゃ』座二郎/作 あかね書房 2016.1 ¥1,300

お父さんが忘れたお弁当を届けようと出かけたルイ君。駅で電車を待っていると、大きなピンク色の電車が着いた。家のぬいぐるみに似た車掌に迎えられ、電車の中の店や食堂、図書館をめぐる…。カラージュを用いた建物や電車が複雑に重なり合う不思議な世界を冒険できる。通勤電車の中で、紙袋の裏に描くという「通勤漫画家」初の絵本。

<絵本—小学校低学年から>

『地球の見えるところをのぞいてみたら』てづかあけみ/作・絵 PHP研究所 2016.1 ¥1,300

今、見ているのは何?見えないところまで探検してみよう!例えば、1本の木。外からは木ということしかわからないけれど、中のぞくと、鳥やリス、蝶などの生き物が住んでいるよ。他にも、地面の中や雲の中も…。地球には不思議がまつまっている。見えていないものの方が多いことに気づかされる、見えない所をクローズアップした美しい色づかみの知識絵本。

『ロベルトのてがみ』マリー・ホール・エッツ/作 こみやゆう/訳 好学社 2016.1 ¥1,600

スペインから移民してきたロベルト家族は英語がわからない。3年生のマルコが通訳してくれるが、5歳のロベルトにはわからないことだらけ。ある日、料理の下手な母さんが、父さんに怒られて家を出て行った。ロベルトは預けられた「子どもセンター」で、少しずつ英語を覚え…。実在の少年をモデルにした感動作。『もりのなか』『わたしとあそんで』など数々の作品で愛されている作者の1967年の作品。

<読み物—低学年から>

『しゅくだい大なわとび』福田岩緒/作・絵 PHP研究所 2016.1 ¥1,100

小3のそうたは、2週間後の大なわとび大会にクラス全員で参加することになった。しかし、なわに入るタイミングが掴めず、未だに跳ぶことができない。夜の公園でお父さんにコツを教わったり、跳べない仲間の田中君と特訓したり。でも一番心配してくれて頼りになったのは仲良しのぼるだった。苦手なことに取り組む少年の心情を丁寧に描いた1冊。

<読み物—中学年から>

『遠野物語』柳田國男/原作 柏葉幸子/編著 偕成社 2016.2 ¥1,200

子どもの姿のまもり神「ザシキワラシ」、小さい頃にさわわれ山に隠れ住む「ヤマオンナ」、山を歩いていると出くわす「うごく

家(マヨイガ)」等。岩手県の遠野に代々言い伝えられてきた不思議なお話「遠野物語」を、赤い顔をしていたと言われる遠野のくまがナビゲーターとなって語る。遠野の方言での会話は、お話しに温かみを加える。「もっとちょっと教養」シリーズ。

『お静かに、父が昼寝しております ユダヤの民話』 母袋夏生/編訳 岩波書店 2015.12 ¥720

貴重な石ヤシェフェを探していた大祭司の使者は、ダマ家にその石があることを知る。早速その家を訪ね、娘に高額で買い取りたいと話す。父親が、昼寝をしているので起こすわけにはいかない。1年後、今度は赤牛を譲って欲しいと使者が訪れるが…。ユダヤ人社会のなかで語りつかれてきた民話、ユダヤ教のたとえ話、聖書の「創世記」からの物語など全38編。岩波少年文庫。

<読み物一高学年から>

『キキに出会った人びと』 角野栄子/作 福音館書店 2016.1 ¥1,300

6年前に完結した『魔女の宅急便』シリーズに登場する多彩な脇役たちが語る、物語の向こうの物語。グーチョキパン屋のおソノさんの青春、町長さんの内緒ごと、ヨモギさんに起きた不思議なこと…。ところどころに『魔女の宅急便』の物語に出てくるできごとと繋がっているところがあり、読み返すきっかけになるかも。『WEB 福音館』連載に書き下ろしを加えて書籍化。

<読み物一中学生から>

『真田十勇士 1 忍術使い』 松尾清貴/著 理論社 2015.11 ¥1,300

村が賊に襲撃され、浅間山の噴火した夜、7歳の佐助は白雲斎に助けられる。しかし、一人山奥の小屋に入れられ、「殺されたくないけいぼ逃げる」と捕まえられては痛めつけられる毎日。命がけて忍びの術を体得した佐助は15歳のある日、化け物から自由になり人間に戻るべく白雲斎と戦い、勝利した。一方、真田正幸の二男幸村も…。戦国武将・真田幸村と彼に仕えた十勇士の物語の始まり。

『親友のつくり方、教えましょう。』 オスカー・ワイルド/ほか作 くもん出版 2015.12 ¥1,200

世界文学の主要な作家の掌編を、親友というテーマに沿って選んだアンソロジー。文字が大きく、漢字すべてに読み仮名が付され、語句注も付いているので、国語の教科書のような読みやすさ。著名な世界の作家たち、日本の翻訳者たちとのよき出会いを目指したシリーズ5冊。1年前に、家族、恋、冒険などをテーマにした5冊が既刊。「読書がたのしくなる世界の文学」全15巻予定。

<ノンフィクション一小学校高学年から>

『もっと知りたい!話したい!セクシュアルマイノリティ』 日高庸晴/著 汐文社 2015.12 ¥2,400

最近耳にする機会の多いセクシャルマイノリティ=性的少数者。人口の3~5%で存在することがわかっている今、その人を正しく理解するための、また、このことで悩んでいる子どもには、自分の性について誇りを持ち、自分の望むように生きていこうとする勇気を与えてくれる本。「セクシャルマイノリティについて」、「わたしの気持ち、みんなの気持ち」、「未来に向かって」全3巻。

<ノンフィクション一中学生から>

『990円のジーンズがつくれるのはなぜ? ファストファッションの工場で起こっていること』 長田華子/著 合同出版 2016.1 ¥1,400

劣悪な環境での低賃金、長時間労働を強いられる日系の縫製工場で働く若いソングラディッシュの女性たち。著者が知り合った7人の女性の家庭環境や経済状況、低価格商品が生まれる背景や具体的な工程などを調査、報告する。安価な洋服を通じて、グローバル経済と私たちがどのように関係しているか、若き研究者が、中高生に向けて1枚の洋服の裏側にある現実を伝える。

<研究書>

『困ったときには図書館へ 2 学校図書館の挑戦と可能性』 神代浩・中山美由紀/編著 悠光堂 2015.11 ¥1,800

前半では、館長は誰か? 学校の一部か、図書館か? など根本的な問題を学校図書館の歴史や法規から押さえ、今後の方向性を示す。後半は、全国の様々な校種での取り組みの実践を司書教諭や学校司書が紹介。教育委員会や公共図書館の先進的な学校図書館支援の事例も紹介され、学校図書館のあり方を考えるヒントが満載。

【県内の動き】

★子ども読書ネットワークフォーラム in 萩~子どもに生きる力を~

- 絵本作家くすのきしげのりさんによる講演会・読み聞かせ ○日時:平成28年3月12日(土)10:00~15:00
- 会場:萩市立萩図書館2階 ○定員:80名(要申込み)
- 参加費:無料 ○照会先:萩市立萩図書館(0838-25-6355)

★きてきてきてたのしんで おはなし会だよ

- 日時:平成28年3月19日(土)14:00~14:40 ○会場:光市立図書館 2階視聴覚室
- 内容:日本の昔話、てあそびなど ○対象:4,5歳から大人まで
- 主催:語りの会ひかり ○照会先:光市立図書館(0833-72-1440)

★川端誠絵本ライブ~絵本とともに旅をして~

- 日時:平成28年3月19日(土)14:00~16:00 ○会場:パルトピア山口 3階 中ホール
- 対象:3歳くらいから大人 ○定員:80名(要申込み) ○会費:500円
- 主催:こどもと本ジョイントネット21・山口
- 照会先:山口(090-3636-2617) 山本(090-2008-9467)

★ききくらべ ~えほん×らくご~

- 日時:平成28年3月20日(日)13:30~ ○会場:下関市生涯学習プラザ 宙のホール
- 出演者:絵本作家・川端誠 落語家・三遊亭萬橋
- チケット:大人1000円 小人500円
- 照会先:児童書専門店こどもの広場(083-232-7956)

★マタニティ・プレママのための絵本カフェ

- 日時:平成28年3月23日(水)10:00~11:30 ○会場:光市立図書館 2階 視聴覚室
- 対象:妊婦さんと0~8ヶ月児のお子さんと保護者
- 定員:30名程度(要申込み)
- 持参物:母子健康手帳 ○照会先:光市立図書館(0833-72-1440)

※子どもの本や読書についてイベント情報をお寄せください。